

会 議 名	第3回港区立箱根ニコニコ高原学園指定管理候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年7月11日(木) 午前10時から午前12時00分まで
開 催 場 所	区役所7階 教育委員会室
委 員	出席者 5名 井上委員長、吉野副委員長、石井委員、油布委員、井谷委員
事 務 局	鈴木学務課長、学務課学校運営支援係 上野 青天目 大橋
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及び質疑回答 (1) A事業者 35分(プレゼン10分+質疑応答25分) (2) B事業者 35分(プレゼン10分+質疑応答25分) 4 第二次審査採点及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の実施について 資料2 第二次審査採点基準表(A事業者) 資料2-2 第二次審査採点基準表(B事業者) 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果(A事業者)(※採点終了後、机上配布) 資料3-2 第一次審査・第二次審査集計結果(B事業者)(※採点終了後、机上配布) 参考資料 第2回選考委員会議事録概要 参考資料 第一次審査集計結果
会議の結果及び主要な発言	
D委員	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及び質疑回答  ～A事業者入室～  (1) A事業者 (プレゼンテーション実施)  支援体制の整備、安心安全の運営に努めていくということはよくわかりました。 安全管理等について、マニュアル等に従い進めていくということですが、そのマニュアルの実効性や確実性を高めていくために、具体的にどのような手立てを講じて、よ

	<p>り一層安全を確保するのか、具体的にお話をいただければと思います。</p>
A事業者	<p>安全管理等に関する具体策としては、本部の人間と現場の人間が定期的に会い意見交換することを考えています。</p> <p>具体的には最初は1週間に1回、慣れてくれば間隔は少し開けて、2週間に1回、月に1回と、必ず現地に本部の職員が来て、マニュアルの確認をします。</p> <p>本部と現場が一体となって、定期的に現状の問題点を話し合いより一層、安心安全に施設を運営できるか、それを継続して行って参りたいと考えております。</p>
A委員	<p>3点お伺いします。</p> <p>1点目、2023年度の類似施設における稼働日数と利用学年を教えてください。</p> <p>2点目、御社が特に支援活動で重視をしていることを教えてください。</p> <p>3点目、アレルギー食に関して、港区は非常に外国籍のお子様が多いので、ハラル食について対応可能か、また対応するとしたらどのような対応ができるかについて教えてください。</p>
A事業者	<p>まず1点目について、品川区と荒川区の施設は、移動教室、校外学習のみの利用、足立区の施設は、校外学習と一般の利用となっています。品川区と荒川区の施設の利用は5月から10月までの期間になっており稼働率はかなり低く25%程度で、小学校6年生が利用しています。一方、足立区の施設は2月3月を除けば、大体40%から50%の稼働率となっており、時期によって、小学校5年生及び6年生が利用しています。</p> <p>2点目について、例として品川区の施設の場合ですが、施設の気象特徴を踏まえ、体育館でキャンドル等、キャンプファイヤーの代わりに、ふくべ細工、日光彫り体験などの体験支援を行っています。飯盒炊爨（はんごうすいさん）では、当社のスタッフが3名必ずいて、飯盒の係、薪をくべる係と目的を別々にして、支援を行うようにしています。</p> <p>3点目について、宗教食は本来、調味料から鍋、調理を全て別々しなければいけません、そのうち調味料に関して対応はできます。先生保護者と綿密に打ち合わせをして、できる限りの対策を行っており、今のところトラブル等の問題はありません。</p>
B委員	<p>活動中の熱中症や突然の発熱等、健康上の突発的な問題が起こった場合の具体的な支援、対応を教えてください。</p>
A事業者	<p>体調を崩す児童がいることを想定し、近隣の病院に事前に対応依頼をしています。区が事前に契約している施設もありますが、そうでない場合、現地の方で病院と契約をしたうえで、受入れ体制をお願いしています。</p> <p>病院までの移動については、場所によって異なりますが、移動用の大きな車を用意し現地のスタッフのほか、保健の先生などに対応していただき病院まで送ります。同時に保護者に対して連絡したうえで、保健の先生と現地常駐の看護師の判断で、お迎えや途中帰宅の有無について決定します。</p> <p>移動教室の保険があることを踏まえ、必ず帰宅前に、病院に行かれるような指導をしています。</p>

	<p>また、基本的には私どもで看護師を準備しておりますので、児童がいる場合は必ず24時間体制で対応しております。</p>
B委員	<p>夜間看護師さんが常駐しているということですが、対応する病院も夜間受入れしているところですか。</p>
A事業者	<p>はい。</p>
C委員	<p>基本的には、外に出での活動は学校が責任を持って行いますが、具合の悪い子が出たときの対応は様々です。例えば、同時に複数人の児童の体調が悪くなるということも私自身経験したこともあります。病院に行くにしても施設に戻るにしても、協力していただけるのでしょうか。</p>
A事業者	<p>現地で送迎用車両は用意しますが、何度も往復が必要となる場合にはそのような形になると思います。</p> <p>実際日光では2施設管理しておりますが、体調不良者が複数同時に発生した場合、もう一つの施設のスタッフを応援で出して対応したケースが何回かあります。</p> <p>下田の方では、民間企業の保養所が近くにあり応援が可能です。</p> <p>箱根地区は、当社において、4ヶ所を運営しておりますので、支援体制は可能だと思います。</p>
C委員	<p>車の準備もしているの、柔軟に対応していただけるということでしょうか。</p>
A事業者	<p>はい。</p>
C委員	<p>仕様書等での記載が困難な細かい事案も発生するかと思います。そういう時にも柔軟に対応していただけるという理解でよろしいですか。</p>
A事業者	<p>はい。</p>
C委員	<p>食事におけるアレルギー対応は、どんな事業者さんであれ、確実に対応していただく必要があります。そして食事に絡む話で、宿泊行事の中での食事を活用しての食育、それについて何かお考えはありますか。</p>
A事業者	<p>提案書にも記載していますが、いつもと違う環境の中で、どのような体験を伝えるかということかだと思います。</p> <p>食育については、まず食べることに関して、人との関わり、料理づくりへの関わり、食文化を通して、この4つを掲げております。</p> <p>先ほど申しました飯盒炊爨も、料理づくりでの人との関わりだと思います。給食当番とか配膳当番では自分で食事を用意します。日頃お父さんお母さんがやっていることを自分が体験することで、その大変さを知れます。</p> <p>初めて口にするものもあるかもしれません。箱根地区ならではの食材を食べるとい</p>

	<p>ことで食文化に触れるということが非常に大事だと思います。</p> <p>好き嫌いやアレルギーのこともあります。友達と一緒に食べるということの一番は、その楽しさです。それを感じていただきたいなと思います。</p>
C委員	<p>今の質問は様式 30 も見ての質問でしたが、具体性が見えないのでちょっと質問させていただきました。</p>
A事業者	<p>実際当社で行っている食育に関してですが、児童さんが食べ始めた後、調理長や調理補助の人間が、児童さんがきちんと食べているか、残すものはないか、食が進んでいない子がいるかなどチェックして、お子さんに声をかけるようにします。</p> <p>食が進んでないお子さんがいた場合、報告をして先生方に様子を見てもらう等しています。</p> <p>次の日にハイキング等体力使うことがありますので、やはり好き嫌いもちろんありますが、残さず食べて欲しいので、見て、報告をして、ということはありません。</p>
E委員	<p>箱根の事業は子供たちにとっては普段とは違う集団生活、自然環境の中での貴重な体験、それから子供たちにとってもかけがえのない思い出づくりの場にもなると思います。これまでの実績の中で、子供たちにとって、記憶に残る体験、それから興味を刺激する工夫だったり、新たなチャレンジだったり、今も続けていることを具体的に教えてください。</p>
A事業者	<p>これまでの実績の中では、大きくなったときに日光に来たら寄ってくださいということをもまず1つ念頭に置いています。</p> <p>家に帰って、お父さんお母さんに思い出話をしたり、大人になっても頭に残るというような思い出作りを得るように心がけています。具体的には、お子様が食堂に來たりロビーに來た時に話しかけたり、帰るときほぼ全員のスタッフで見送り、表に出てバスが見えなくなるまで手を振っています。それはオープン当初からずっとやっています。</p>
B委員	<p>滞在中、学校が色々とプログラムを作成すると思いますが、雨の場合等でプログラムが出来ない時は、学校さんとの打ち合わせや施設の方で、このような例がありますよというものはありますか。</p>
A事業者	<p>移動教室に工程表を作成する場合、晴天時、雨天時の場合で、2パターン作られると思います。</p> <p>雨天の場合においては、館内で出来る体験、箱根でいけば、寄木づくり、クラフトワーク、ボードコールを作ったり、そういった工作を含めて少しでも箱根を感じられるものを出来たらということで予定しています。</p> <p>日光の場合は先ほど申しましたふくめづくりや、日光彫りの簡単なものというようなパターンもあります。</p> <p>下田の方に関して言いますと海が近いものですから、サザエの殻を使ったキャンドルづくり等ご提案させていただいています。</p>

	箱根というエリアに関して言えば自然の木や葉っぱを使ったクラフトワークをご提案させていただきたいと思います。
A委員	今の事業というのは割と小学生対象のものだと思うのですが、中学生対象だった場合何か提案はありますか。
A事業者	中学生の方に関して言いますと、例えば雨天の場合、体を動かす体験です。 大きな体育館がございますので、バスケットボールとか体育館を使用した運動、また、そこにインストラクターを呼んだりして音楽などの専門的な教室をするなどが挙げられます。 そのほか、かまぼこづくりです。小田原という土地では非常に生産があるので、かまぼこ作りができればいいかなと思います。
D委員	安全な生活のためには、地域情報の収集というのはとても大切だと思います。 箱根の場合火山情報というのは、機器を持って様々な団体が情報流すと思いますがそれ以外にどういう観点で情報を収集する計画がありますでしょうか。あまり明確に分かれて書いてなかったので、お聞きしたいです。
A事業者	基本的にはインターネットを通じた情報収集になってくると思います。 結局、ネット回線も災害時になると繋がらないという状況が出てくると思います。 本部からの発信で、自然災害に関して事前にわかることに関しては、まず準備し、台風などについては事前に周知するなどして準備をさせます。 あと、地震等突発的に起こる災害もあると思います。箱根エリアがすべて壊滅的な状況になるという可能性もあります。このようなときは例えば伊豆、御殿場山中にも弊社の事業所がありますので、そちらからの協力等を含めて対応させていただきたいと思います。 また先ほど説明させていただいた Teams というアプリで本部からの情報をまわします。箱根地区のスタッフが、それを見て警報が出たというのがわかり、具体的な歩みをするということが出来ます。
	<b>(2) B事業者 (プレゼンテーション実施)</b>
D委員	2点質問させていただきます。 1点目は、芦ノ湖キャンプ村との連携という点において、実際にどういう状況で、芦ノ湖キャンプ村との連携が行われるのか具体的に教えてください。 2点目は、箱根ニコニコ学園に近隣住民を招くニコニコ感謝祭という提案企画について、提案に至って背景や狙いについて教えてください。
B事業者	1点目について、箱根ニコニコ高原学園は、繁忙期と閑散期でかなり繁閑の差がある施設ですが、財政的な観点から通常期プラスアルファという形で人員体制は想定しています。そのため、繁忙期は芦ノ湖キャンプ村から清掃、夜間管理、調理人員等が不足するときに派遣するなどの連携を想定しているほか、実地踏査時に視察に来

	<p>られる教育委員会の皆様、学校関係者の皆様の昼食休憩、あるいはハイキング中の児童たちのトイレ休憩といったところで活用していただくことを想定しています。</p> <p>2点目について、ニコニコ感謝祭の背景については、近隣の地域住民の皆様のご理解を深めるということが最も大きいです。ニコニコ学園自体の周辺の地域住民にも入れ替わりがあり、施設自体も基本的に関係者以外立ち入り禁止であるので、地域住民の方々からの理解をいただくためにも普段立ち入ることができない施設を開放して中を知っていただくことが必要と考えています。</p>
A委員	<p>食育について、地域食材の使用と記載されておりますが、それをどのように食育に生かしていくのか、そのお考えを教えてください。</p> <p>また、企画書に新たにいろいろなプログラムを提案していますが、この中で、特に小学校、中学校に、これはいいだろうなという何か提案があったら、お知らせください。</p>
B事業者	<p>食育に関しては、箱根小田原地域は箱根西麓野菜やかまぼこなどが名産ですので、かまぼこ博物館等での体験や製造工程の観覧を通じて食育ができると考えています。</p> <p>また、新たに小田原の魚市場さんと提携をさせていただくことで、市場の見学や漁業関係者との交流、地域の伝統食に関する話を聞くことで、日本の伝統食、伝統産業を学んでいただくと考えています。また、食事はすべて手づくりで提供しますので、児童の皆さんが、自分自身の健康や成長に興味を持って食を選び、力もつけていただきたいと考えています。</p> <p>また、新たなプログラムについてですが、現場の栄養士による食事指導やマナーについての話に加えて、食事は栄養価の計算をしっかりと提供しますので、日頃の食生活と比較した際の栄養価の違いなどを、食を通して学べるプログラムを考えています。また、小田原の漁業組合さんと協力した講座も提供していきたいと考えています。</p>
B委員	<p>施設運営に関して、これまで色々な経験や知識の蓄積があったものと推察しますが、夏季学園や移動教室などに携わっている施設はありますか。</p>
B事業者	<p>広島市文化交流会館という施設で、中学生・高校生の就学旅行などの受け入れを中心として受け入れています。愛媛県のウェルピア伊予という施設では、小学校から大学生まで合宿などを受け入れています。その他、先ほどからお話させていただいています芦ノ湖キャンプ村では、小・中学校の林間学校やインターナショナルスクールのサマーキャンプなどを受け入れています。</p>
B委員	<p>夜間対応における責任者について教えてください。</p>
B事業者	<p>夜8時から朝8時まで職員が在駐したうえで、夜間につきましては自衛隊や警察OBを中心に配置し、緊急事態に対応できる人間を選んでおります。</p>
B委員	<p>サポート要員としての非常勤の職員についてその人たちの責任や役割の分担、領域についてどう考えていらっしゃるのかも併せて伺えればと思います。</p>

B 事業者	非常勤職員が多い体制ですが、清掃、調理など領域ごとにグループリーダーがおり、その上に、正職員が管理責任者として、それぞれの部門に配置しております。児童をお預かりする施設なので、研修体制は定期的にしっかりと行い、いざというときにすぐ動ける体制は整得ております。
C 委員	危機管理について、子供が例えば外出時に具合が悪くなったり、けがをしたりした時について、送迎の手段はどのようなものですか。
B 事業者	箱根ニコニコ高原学園に緊急時に備えた車両を設置し、事案が発生したら、迅速に常駐職員が迎えに行き、必要に応じて病院に搬送するなどの対応を行います。
C 委員	実際にそのような対応が発生した場合には、教員が付き添うこととなると思いますが、危機対応完了後に児童等と合流する交通手段がない時も支援していただけるということでよろしいですか。
B 事業者	はい。例えば、大規模校が2グループに分かれた行程を組まれていて、合流する場所がないときの支援も、こちらの方の人員体制が整っているときや、動ける体制であれば対応いたします。
C 委員	「体制が整ったら」というのはどういうことでしょうか。
B 事業者	急な話だと難しい場合があります。急病人があった場合は急病人を優先させていただきますので、事前に要望・要請を受けた上で準備いたします。
E 委員	アウトドアの知識を生かした防災講座について具体的な事例と、子供たちにその防災について興味を引きつけるための工夫や、具体的な事例を教えてください。
B 事業者	仮に避難生活をした場合のシチュエーションで、基本的な火起こしは理解していただく必要がありますが、牛乳パックでご飯を炊くとか、寒いときの体の保温など、身近なものを使って体験すると興味を引き付けられると思います。ご家庭に持ち帰って、保護者の方々と一緒にできるものであると、さらに理解が深まりますし、お子さんたちも、お話のネタになるのではないかと考えております。
A 委員	社会教育団体への対応についてお話をください。
B 事業者	この4年間はコロナ禍により、利用制限があったため社会教育団体への積極的なアプローチが出来ない状況であったことから、利用促進活動として、広報に掲載したり、各公共施設にパンフレットを置かせてもらったり、過去にご利用いただいた団体様にご挨拶状ですとか、そういったアプローチをしたいと考えています。社会教育団体の方々にはあらかじめ目的を持って箱根ニコニコ高原学園にいらっしゃると思いますので、私どもの自主事業にご関心をいただくことが少ないと思いますが、例えば団体の方々が食事の時間にバーベキューを提供するほか、自然と触れ合えるような自主事業

	<p>を数多く用意し、社会教育団体の方々にもご紹介させていただくようなことを考えています。</p>
委員長	<p>全事業者のプレゼンテーションが終了いたしました。 では集計に入りますので、記入が終わりましたら第二次審査採点基準表を事務局が回収いたします。</p> <p>～事務局が第二次審査採点基準表を回収～</p> <p><b>4 第二次審査採点及び事業候補者の選定について</b> ～集計後資料3、資料3-2配布～</p>
委員長	<p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは説明させていただきます。 2次審査につきましては各委員の持ち点が100点、計500点満点となっております。 A事業者につきましては、341点、B事業者については382点となっております。 説明は以上となります。</p>
委員長	<p>では採点の結果につきまして、各委員の皆様から順に講評をお願いします。 講評に際しましては事業者ごとに評価が高かった点と低かった点についてご説明をお願いいたします。</p>
A委員	<p>A事業者ですが、類似施設の経験については評価できますが、中学校に対する経験が少し不足しているのがもったいなかったという印象です。 網羅的には全部いいところを持っているのですが、説明が少し概念的すぎて、具体性に欠けているのが残念だったと思いました。 対してB事業者ですが、非常に具体性がありました。一番よかったのは、区の目標をしっかりと意識して、それを踏まえた提案になっているということがきちんと語られていた点です。また、新たな提案があるという点も魅力的だなと思いました。</p>
B委員	<p>私はA事業者もB事業者もさほど大きな違いはないというふうに受けとめました。 今回のプレゼンテーションを聞いたときに、A事業者もB事業者もしっかりと重要な点が押さえられているという印象を持ちました。 B事業者は他の先生方が高く評価されていますが、私はプレゼンの内容も企画書の内容もそれほど優れているのかどうか判断できませんでしたが、今日のプレゼンテーションを伺ったときに、施設運営の実績があり評価を受けていることを伺って、そういう強みがあったのだということに改めて気付きました。その結果、B事業者の方が若干採点が高くなっています。</p>
C委員	<p>私はまずA事業者もB事業者もあまりプレゼンテーションは上手くはないかなと思</p>

	<p>いました。</p> <p>A事業者は、中身自体は悪くはないのですが具体性に欠けている点が引っかかっています。</p> <p>B事業者は、それと比較して具体的であったというところです。</p> <p>プレゼンテーションの内容で考えると、意欲というところは、これは両者とも低くしたところがございます。</p>
E委員	<p>プレゼンテーションを聞いてA事業者もB事業者も非常に意欲は感じられました。</p> <p>その中で、B事業者は、ニコニコ感謝祭の質問を受けた際に、世代が変わっていく中で、いろんな近隣の方々からこの施設を理解してもらうための試み、子供たちが気持ちよく色々な体験できるための試み、そういったことを考えていると感じ、B事業者を評価しました。</p>
D委員	<p>私は、A事業者は一生懸命で意欲は感じたのですが、説明に具体性と軸がないと感じました。</p> <p>それから、B事業者は港区の基本方針は押さえており、内容は良かったと思います。ただし、説明が十分ではなく、説明者の理解が及んでいない印象を受けました。また、芦ノ湖キャンプ村との連携については、記載の内容と説明の答えが違う部分がありました。ですから、AもBも大きな差はなかったというところはあります。</p>
委員長	<p>それぞれの先生方委員の講評を踏まえて意見交換をしたいと思いますが、何かご意見ございますか。</p>
C委員	<p>この後、ここで意見交換した後に候補者が決まりますが、本日出た意見を候補者に対して伝えて、指定期間開始までに改善、考え方の見直しをしていただく必要があると思いますので事務局にお願いしたいところです。</p>
事務局	<p>先ほど企画提案書とプレゼンテーション担当者との理解に差があるのではないかとご指摘もいただきました。提案していただいた内容が評価されて候補者として決定されるわけですので、当然その企画書の内容をしっかりと実現するためのアプローチをしていただきます。</p> <p>また、今回の質疑の中で、対応が可能であることが判明したことや実現可能性が問われる提案等の実現に向けては、業者決定後に事務局の方から働きかけていきたいと考えています。</p>
D委員	<p>区と一緒にやるべきイベントもあるように感じたので、しっかりと足並みをそろえて進めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>D委員がおっしゃるように区の施設でのイベントという形になりますので、当然勝手にやることはできません。他方でE委員からご指摘あったように近隣への理解を深めていただくという試み自体が今回は評価されていますので、その実現をどのような形でしていくのか、仮にB事業者に決まった場合であれば、そこはB事業者と今後事務</p>

	局の間でしっかり話したいと思います。
事務局	それでは意見交換を踏まえて、ご自身の採点を変更する場合がございますら、挙手でお知らせをください。
全委員	(挙手なし)
委員長	ではこの採点の通りに進めさせていただきます。 第一次審査と第二次審査の合計点が、A事業者は 992 点、B事業者は 1165 点となりました。以上の集計結果から、本選考委員会としては、B事業者を指定管理者候補者として選考します。ご意見ございますか。
全委員	(異議なし)
委員長	それでは、B事業者を指定管理者候補者として選考します。
	<b>5 その他</b> (事務局から事務連絡)
	<b>6 閉会</b>
委員長	それでは以上をもちまして、第3回港区立箱根ニコニコ高原学園指定管理者候補者選考会を閉会します。

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。